

令和4年度事業報告について（
（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
（特定非営利活動に係る事業）

【1. 特定非営利活動に係る事業】

(1) 事業の成果

令和4年度はコロナ感染拡大の波は上下したが、徐々にwithコロナの時代に突入したのに呼応しての活動となった。川崎市地球温暖化防止活動推進センターは、CCかわさき交流コーナーを拠点として、4半期ごとに異なる視点からの温暖化や脱炭素について展示や講座による市民への普及啓発は一定程度実施出来たが、高津市民館の改築工事期間（2023年1月～2月）は展示・講座等の開催は実施出来ない状況にあった。

展示・講座のテーマは「ファッションからエコに」「適応策と防災」「脱炭素」など、脱炭素を中心に新たな視点を取り込んだテーマを展開した。展示には、市内事業者との連携・協力をもとに、幅広い展示と訴求性の高いものを中心に据えた。また、子どもたちにとって大切な行動変容への足掛かりとなる体験の場、夏休み自由研究講座、かわさき環境フォーラムなどを開催することで、多くの市内小学生の参加を得て、家族を含めた世代へ脱炭素への行動変容の普及啓発に努めた。夏休み期間の親子見学会においては現実の見学会が実施できない状況だったため、オンライン開催で実施したが、子どもたちにも分かり易かったと大変好評だった。中学校美術部などが参加する脱炭素アートを実施した。推進員プロジェクトによる小中学校への環境出前授業件数は、昨年度の92件（児童数11,235人）には及ばないが、それに迫る73件（児童数8,182人）に達し、かつ中学校が増えている。学校からの主要な依頼テーマは「脱炭素」「SDGs」「水素」等、時代のニーズを反映したプログラムが多いのが特徴的である。今年度は、市内こども文化センターやフリースクールからの講座依頼もあり、幅広い層に浸透しつつあることが窺われる。

各区推進員団体及び各区役所との協働による「脱炭素キャンペーン」は、7区のうち4区で開催が実現した。開催会場は、区ごとの実情に合わせて、区役所のほか市内イベント会場などでの開催となり、多くの親子・市民に脱炭素の危機感を伝えることが出来た。来年度に向けて効果的な開催手法なども模索が出来た。

川崎市の脱炭素・モデル事業である「脱炭素アクションみぞのくち」の取組には、創出プロジェクトが活発に取り組みを推進したが、当センターも中核を担うべく、積極的に参画をしてきた。「健康」×「脱炭素」をテーマとしたイベントや小学生のYou Tuber体験を通して脱炭素アクションを体験してもらう企画の実施、「食品ロス」と「プラスチック」に関するマップ作製に取り組んだ。脱炭素アクションみぞのくちひろばのイベントでは、サテライト会場として、若者世代を中心に親子で楽しく取り組めるイベントを開催し多くの方に脱炭素アクションの一步を踏み出してもらう機会を得た。

川崎市環境審議会脱炭素化部会にも委員として参画し、川崎市の進める住宅・建物に再エネ導入への理解を進めるため、太陽光発電の設置に関するワークショップを開催した。

地球温暖化対策推進法の改正により、地域センターの業務として「事業者向けの啓発・広報活動」が明記されたことを踏まえ、脱炭素経営に取り組む中小企業支援業務を開始した。「炭素の見える化」支援として、川崎カーボン・ディスクロージャー・アクション（KCDA）事業を展開した。川崎市および市内金融機関などと連携し、先駆的に脱炭素経営を行っている事業者にも協力を得つつ推進した。9社の応募を受けて脱炭素経営の第1歩としての炭素の見える化事業に取り組み、一定の成果を上げることが出来た。

川崎市からは「川崎市地域環境リーダー育成講座」および「川崎市ごみゼロカフェ」を受託した。「地域環境リーダー育成講座」では、多彩な講師陣による充実した講座内容を展開でき、参加者の満足度も高かった。「川崎市ごみゼロカフェ」は、さらなる知識の習得と体験学習を組み合わせた体験型講座を展開し、地域の事業者との連携も深めつつ開催した。

(2) 事業内容

事業を以下の5区分に分け、各業務に該当する事業No.を振った。

事業1	事業2	事業3	事業4	事業5
川崎市脱炭素戦略推進事業	リーダー講座	ごみゼロカフェ	環境省補助事業	自主事業

1) 環境保全に係る普及啓発及び相談助言

①交流コーナーを活用した相談対応、普及啓発等に係る業務

事業1

内 容	交流コーナー管理運営、地球温暖化対策に関する情報・資料・機材等の提供、交流コーナーを活用した普及啓発など		
日 時	2022年4月1日～2023年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー	従事者人員	10人
対象者	川崎市民	費 用 額	9,332千円

②二酸化炭素排出抑制対策事業

事業4

内 容	地球温暖化対策に関する情報・資料・機材等の提供、地球温暖化対策に関する相談・普及啓発など		
日 時	2022年6月2日（補助金交付決定日）～2023年2月28日		
場 所	CCかわさき交流コーナーほか	従事者人員	5人
対象者	川崎市民	費 用 額	3,211千円

2) 環境保全活動を行う個人・団体の支援並びに交流及び連携の促進

①推進員の活動支援等に関わる業務

事業1

内 容	推進員委嘱式、研修会の開催、データベース作成など		
日 時	2022年4月1日～2023年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー、高津市民館他	従事者人員	5人
対象者	川崎市地球温暖化防止活動推進員 84人	費 用 額	959千円

②地域における地球温暖化防止実践活動の推進に係る業務

事業1

内 容	プロジェクト連絡調整会議等の開催・運営、イベント参加時の協力		
日 時	2022年4月1日～2023年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー、川崎市内各イベント会場	従事者人員	10人
対象者	川崎市民、川崎市地球温暖化防止活動推進員プロジェクトグループ	費 用 額	850千円

③家庭におけるCO₂削減支援事業

事業5

内 容	うちエコ診断におけるうちエコ診断士派遣		
日 時	2022年10月		
場 所	川崎市	従事者人員	2人
対象者	川崎市民 他	費 用 額	30千円

3) 多様な主体間の連携推進、行政とその他主体との協働の推進

①地球温暖化防止活動ネットワーク連携強化に係る業務

事業1

内 容	CC川崎エコ会議の運営・開催補助、川崎市地球温暖化防止活動推進センター運営会議の運営・開催、CCかわさきホームページの運営、メールマガジンの発行など		
日 時	2022年4月1日～2023年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー、川崎市役所	従事者人員	3人
対象者	CC川崎エコ会議メンバー、川崎市民	費 用 額	516千円

②かわさき環境フォーラムの開催

事業4

内 容	市民・事業者・学校・行政が一同に会して行う各種交流、楽しめる環境体験工作、オンライン講演会、討論会の開催		
日 時	2022年12月17日（土）		
場 所	高津市民館	従事者人員	10人
対象者	川崎市民	費 用 額	299千円

③川崎市民を対象とした「脱炭素かわさき」普及啓発活動

事業1

内 容	各イベント会場出展、脱炭素アート制作等で川崎市民に対して行う地球温暖化対策の普及啓発活動		
日 時	2022年4月1日～2023年3月31日（通年）		
場 所	川崎市内	従事者人員	5人
対象者	川崎市民	費 用 額	426千円

④地域における中小企業の地球温暖化防止活動促進事業

事業4

内 容	川崎市内の中小企業の「炭素排出量の見える化」を軸とした「脱炭素な事業支援の仕組み」を構築		
日 時	2022年6月2日（補助金交付決定日）～2023年2月28日		
場 所	川崎市内	従事者人員	3人
対象者	中小企業	費 用 額	5,392千円

4) 環境学習・環境教育の企画運営及び環境保全活動の指導者育成

①川崎市地域環境リーダー育成講座企画運営業務

事業2

内 容	講座の企画・運営・実施		
日 時	2022年6月～2023年1月（全8回）		
場 所	大山街道ふるさと館ほか	従事者人員	6人
対象者	川崎市民 受講生10名	費 用 額	912千円

②廃棄物削減を目的とした「ごみゼロカフェ」の運営

事業3

内 容	廃棄物削減を目的とした「ごみゼロカフェ」の運営		
日 時	2022年10月～2023年3月		
場 所	高津市民館ほか	従事者人員	5人
対象者	川崎市民	費 用 額	517千円

5) 環境保全に係る調査研究及び情報提供

①二酸化炭素排出抑制対策事業

事業4

内 容	温室効果ガス排出抑制等のための照会・相談・助言、排出実態の把握、分析など		
日 時	2022年4月～2023年3月（通年）		
場 所	川崎市内、CCかわさき交流コーナー	従事者人員	4人
対象者	川崎市民	費 用 額	1,309千円

②多様な市民との連携を目指した事業

事業4

内 容	10代、20代の若者、子育て世代など多様な市民との連携できる各種の事業を行う。そのためにSNSを有効に活用		
日 時	2022年4月～2023年3月		
場 所	川崎市内	従事者人員	5人
対象者	川崎市民	費 用 額	560千円

6) 伝統文化等に係る活動の推進及び普及啓発
実施しなかった。

7) 子どもの健全育成に係る活動の推進

親子エコ体験クラブの実施

事業1

内 容	隔月で異なるテーマで環境講座等を実施。講座、体験講座、実験等。		
日 時	2022年9月～2023年3月		
場 所	高津市民館、川崎市内	従事者人員	3人
対象者	川崎市民	費 用 額	290千円

8) 持続可能な開発目標 (SDGs) の推進

SDGs 関連をはじめ多彩なプログラムで対応する出前授業及び講座

事業4

内 容	推進員プロジェクトによる出前授業の調整、センター独自の講座の企画・運営・実施		
日 時	2022年6月2日(補助金交付決定日)～2023年2月28日		
場 所	川崎市内小・中学校、こども文化センター	従事者人員	5人
対象者	川崎市民	費 用 額	2,038千円

9) 行政や社会への提案・助言

市民を対象とした「脱炭素かわさき市民会議プラットフォーム」の運営

事業5

内 容	2021年に開催された「脱炭素かわさき市民会議」の参加者が集うプラットフォームの運営		
日 時	2022年4月～2023年3月		
場 所	川崎市内	従事者人員	2人
対象者	脱炭素かわさき市民会議参加者、関係者	費 用 額	30千円